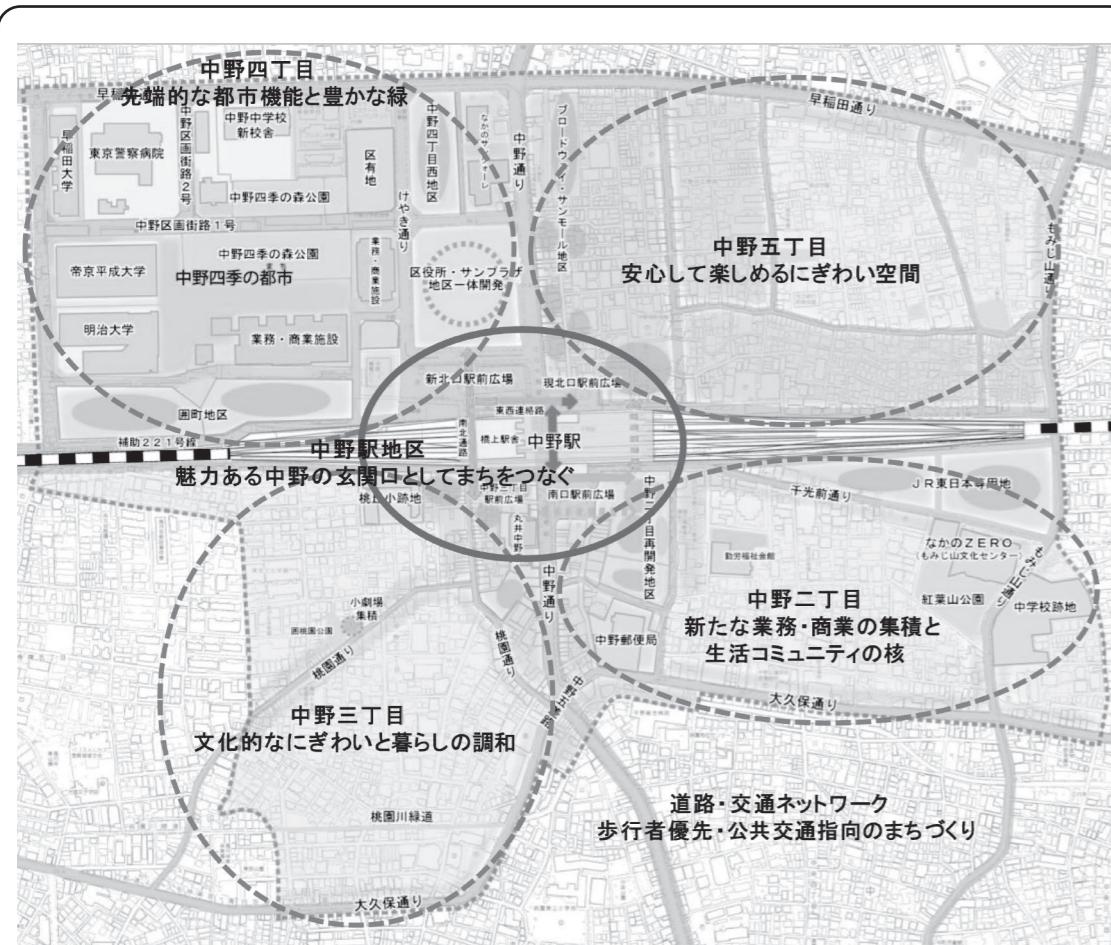


## 4. 中野駅西口地区の上位計画

## 4-2.中野駅周辺まちづくり グランドデザインVer.3(平成24年6月改定)

中野駅周辺のまちづくりにあたっては、中野区都市計画マスタープランで掲げる都市整備の基本理念、「安全・安心」「持続可能性」「協働」に加え、中野駅周辺の課題や特徴を踏まえた基本的な考え方を掲げ、先導的にまちづくりを進めていきます。中野駅周辺は、区全体を「持続可能な活力あるまち」へとけん引する中野区の中心拠点として、多様な都市機能が集約された「東京の新たなエネルギーを生み出す活動拠点」となることをめざします。



## 多核回遊型都市の形成

中野駅周辺の4つの地区は、それぞれのまちの成り立ちに基づいて、まちの個性を形成してきました。こうした個性を活かしながら、多様な都市機能の配置・集積を図り、活力と魅力を高めていきます。また、4つの地区が相互に連携し合い、相乗的に発展していくよう、駅を中心とした回遊ネットワークを形成するための動線整備を進めます。

中野駅地区～魅力ある中野の玄関口としてまちをつなぐ

## 地区のめざすべき姿

- 駅施設や基盤の整備を通じて、駅から駅前広場、周辺のまちへと続く安全で快適な歩行者動線を確保し、駅利用の利便性だけでなく、生活の利便性も高まっている。
  - 駅、まちそれぞれの機能が融合し、魅力的にぎわいを生み出し、さらなる来街者の増加や区民の利便性の向上につながっている。
  - 中野区の玄関口としてみどりや潤いが感じられる場が創出されている。

【各地区をつなぐ動線】

- 駅や基盤施設の整備を通じて、日常的な歩行者交通の円滑化と非常時における広域避難場所への誘導動線の確保に向け、複数の経路を整備します。
  - 西側南北通路は、西側改札新設による利便性の向上とともに、中野三丁目と四丁目をつなぎ、中野通りに次ぐ南北の主要な動線として整備します。

【中野駅（駅ビル）】

- 中野駅の上空活用は、周辺地区への回遊動線を確保するためには必須のものです。駅ビルを地域全体の基盤施設として最大限有効に機能するようJRとの連携協力を築き、公共的貢献を導くこととします。中野駅西側橋上駅舎及び南北通路との一体的な整備、並びに南側東西の動線確保を進めます。

【中野三丁目駅前広場】

- 西側南北通路における南側の新たな玄関口として、歩行者の利便性を高め、回遊動線を円滑にする駅前広場を整備します。

## 中野三丁目地区～文化的なにぎわいと暮らしの調和

## 地区のめざすべき姿

- 駅直近のにぎわいや文化が、後背の落ち着いた住宅街につながり、利便性と良好な住環境が調和したまちが広がっている。
  - 駅直近地区の面的な再整備によって道路交通環境が整い、地区全体の回遊性が高まり、まちの活力が向上している。

【中野三丁目駅前広場】

- 西側南北通路における南側の新たな玄関口として、歩行者の利便性を高め、回遊動線を円滑にする駅前広場を整備します。（再掲）

## 【中野三丁目駅直近地区及び桃丘小跡地】

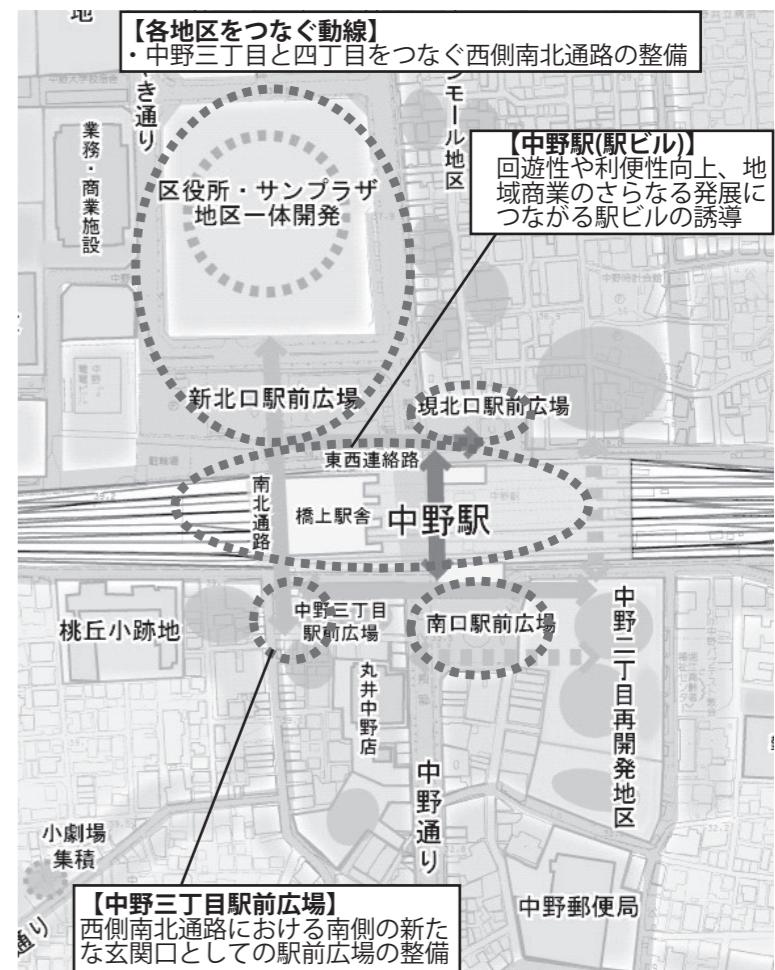
- 駅直近から線路沿い桃丘小跡地にかけて、街区の再編や道路を整備する面的なまちづくりを行い、防災性や利便性を高め、後背の住宅地を含む地区全体の生活環境の向上を図ります。

- 桃丘小跡地は、面的なまちづくりの事業用地として活用します。

- 中野通りを横断し南口駅前広場と接続する歩行者動線を整備し、両広場及び周辺地区の機能連携や移動の円滑化を図ります。

## 【桃園通り沿い地区、住宅地区】

- 駅につながる主要な歩行者動線として安全性や快適性を確保するため、共同化や建替えなどに伴い歩行者空間を創出します。
  - 文化的なにぎわいのまちなみを形成するとともに、後背の良好な住環境を守ります。



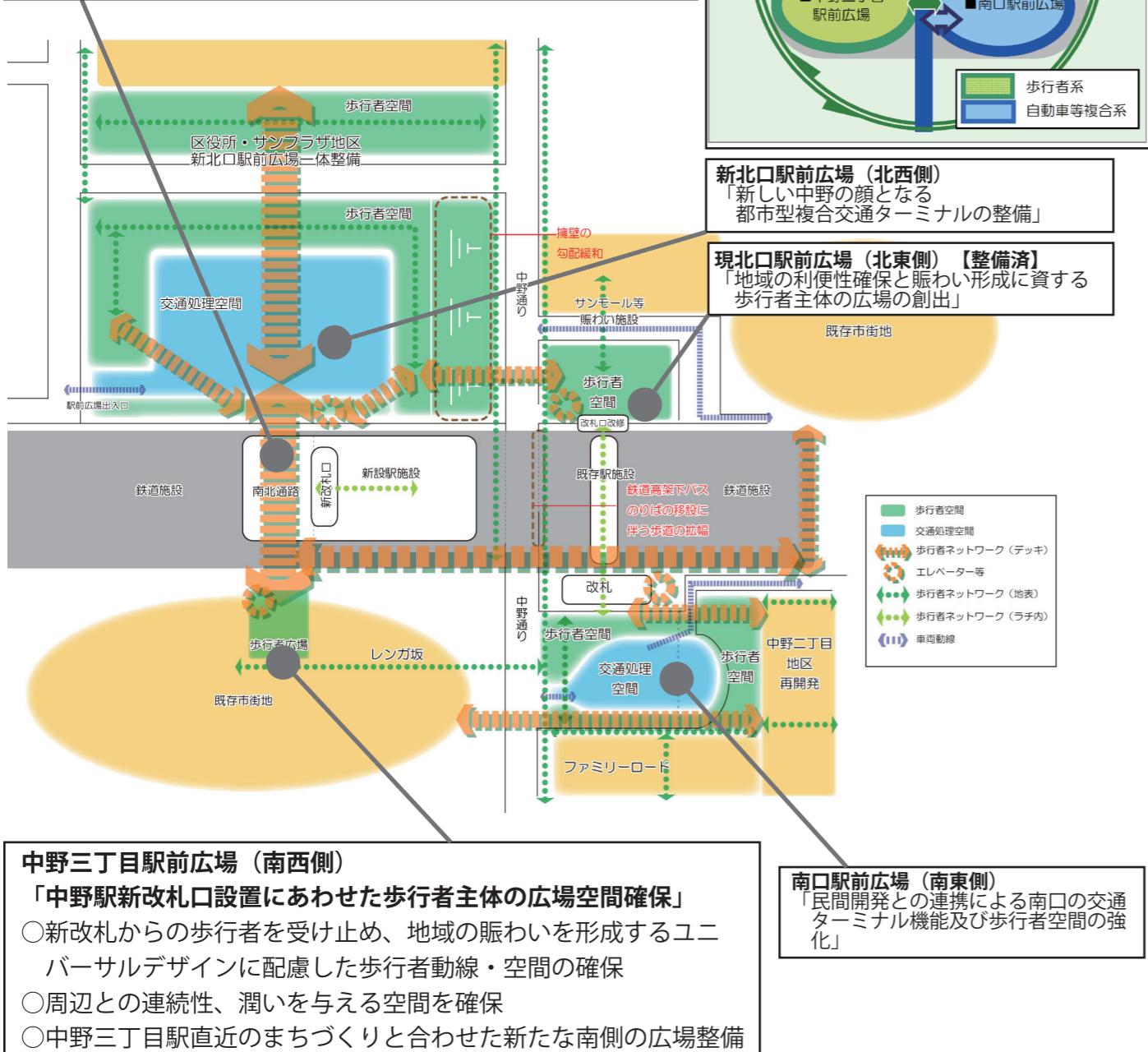
## 4. 中野駅西口地区の上位計画

### 4-3. 中野駅地区整備基本計画(平成26年3月改定)

#### 駅前広場整備の考え方

##### 東西南北の連絡路

- 「地区相互の回遊性を高める安全で快適な歩行者動線の確保」
- 鉄道や自動車動線と分離するとともに、ユニバーサルデザインに配慮して相互を接続
- 非常時の広域避難場所（区役所一帯）までの避難路として必要幅員、耐震性を確保
- 具体的な施設位置は、市街地の状況等を踏まえて決定。市街地側での整備が困難な箇所では、鉄道敷地内での整備等を検討
- 整備時期は北側東西連絡路（整備済）に続き、新改札に合わせて西側南北通路を整備、南側東西連絡路と東側南北通路については周辺まちづくりと合わせた整備を進める



#### 中野駅周辺の主要動線の考え方

##### 【自動車ネットワークの考え方】

- 交通アクセスの向上
- ・地区内は、幹線道路、交通結節点及び今後見込まれる大規模開発等との連携を高めるよう主要な道路ネットワークを形成。

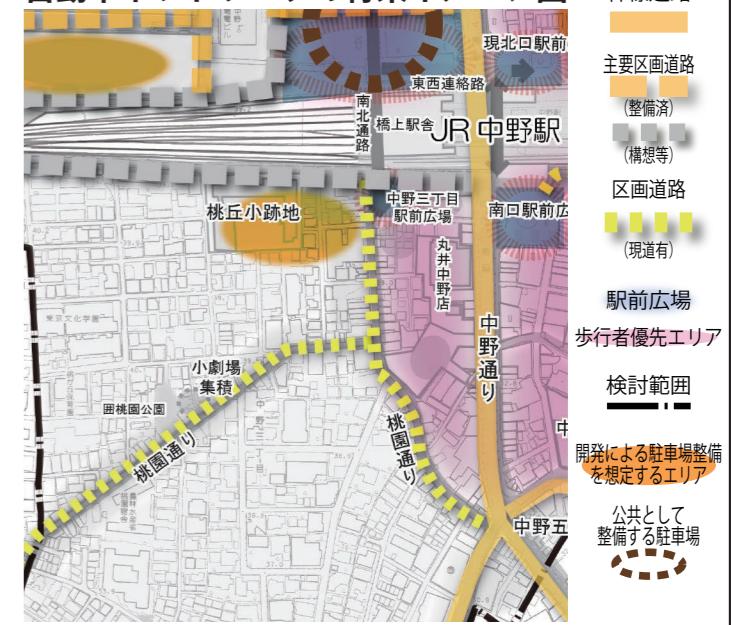
##### ○防災性の向上

- ・地区内の主要な道路ネットワークは、緊急車両の進入ルートや避難ルートの確保等防災性向上も考慮。

##### 【駐車場配置の考え方】

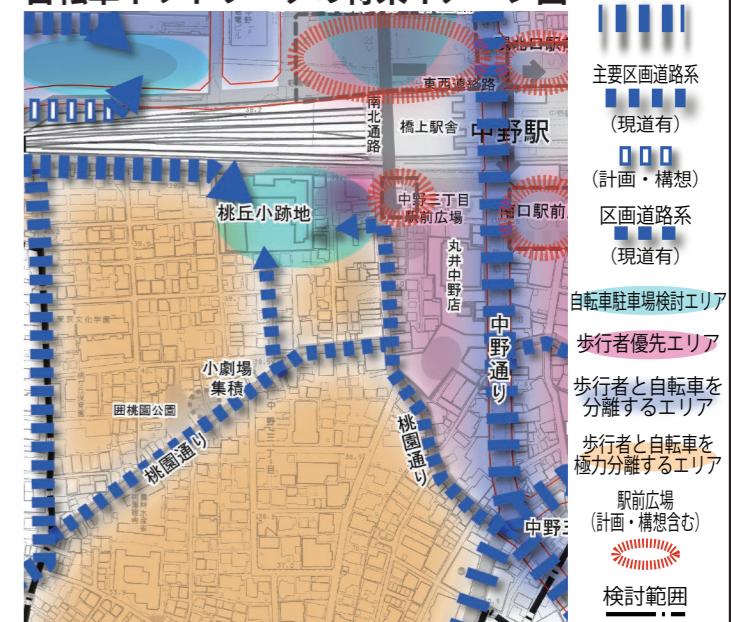
- 中野駅周辺中心部への自動車流入の抑制
- ・駐車場の集約化や分散配置をはかり、出入口は歩行者優先エリアの外周に設置。
- 開発者による駐車場整備
- ・将来の都市開発による駐車需要の増加に対しては、都市開発における適切な規模の駐車場を確保。

##### 自動車ネットワークの将来イメージ図



幹線道路  
主要区画道路  
(整備済)  
(構想等)  
区画道路  
(現道有)  
駅前広場  
歩行者優先エリア  
検討範囲  
開発による駐車場整備を想定するエリア  
公共として整備する駐車場

##### 自転車ネットワークの将来イメージ図



幹線道路系  
主要区画道路系  
(現道有)  
(計画・構想)  
区画道路系  
(現道有)  
自転車駐車場検討エリア  
歩行者優先エリア  
歩行者と自転車を分離するエリア  
歩行者と自転車を極力分離するエリア  
駅前広場(計画・構想含む)  
検討範囲

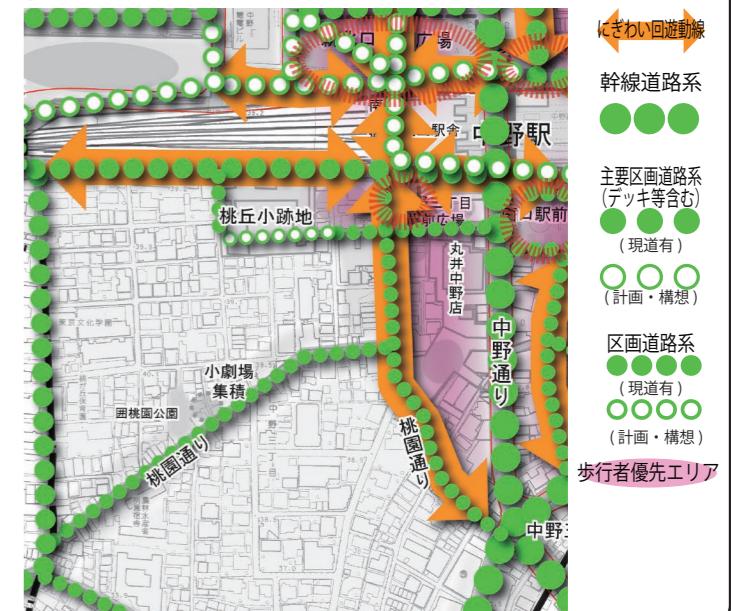
##### 【歩行者ネットワークの考え方】

- 駅直近の回遊性の向上
- 地区内歩行者の利便性・安全性の向上
- 防災
- ・避難場所へ円滑に移動ができる道路幅員構成の歩行者ネットワークを形成。

##### 【歩行者空間の考え方】

- 歩行者空間の拡充
- ・共同化や街区再編整備、建築物の建て替え時に合わせたセットバック（地区計画）等により、歩行者空間（動線）の充実を図る。
- にぎわい回遊動線・広場
- ・中野駅を中心として、ユニバーサルデザインで歩きやすく快適な歩行者空間を整備。

##### 歩行者ネットワークの将来イメージ図



にぎわい回遊動線  
幹線道路系  
主要区画道路系(テッキ含む)  
(現道有)  
(計画・構想)  
区画道路系  
(現道有)  
(計画・構想)  
歩行者優先エリア

## 5. 中野駅西口地区の将来像

上位計画に示すまちづくりの方針をもとに、本地区のめざすべき姿を将来像として示します。

### 中野駅西口地区の将来像

中野駅周辺は、中野区都市計画マスタープランにおいて、「商業・業務地区」に位置づけられており、再開発などによる土地利用の高度化、景観の向上や駅前交通結節機能の改善・整備をすすめながら、「広域中心拠点」として育成することとしています。

また、中野駅周辺地区まちづくりグランドデザインVer.3では、中野駅周辺の4つの地区的それぞれのまちの個性を活かしながら、多様な都市機能の配置・集積を図り、活力と魅力を高めるとともに、相互に連携し合い、相乗的に発展していくよう、駅を中心とした回遊ネットワークを形成するための動線整備を進めることとしています。さらに中野駅周辺各地の整備方針として、中野駅地区については「魅力ある中野の玄関口としてまちをつなぐ」を、中野三丁目地区については「文化的なにぎわいと暮らしの調和」をそれぞれまちのめざすべき姿として示しております。

そこで、中野駅西口地区においては、これら上位計画に示す方針やまちのめざすべき姿の実現を図るため、地区の状況や特性を踏まえ、次のように将来像を示します。

#### ●立体道路制度の活用による駅の上空利用

立体道路制度\*を活用した、中野駅上空への西側南北通路、駅施設及び駅ビルの一体的な整備を通じ、本地区を含めた駅周辺への回遊動線の確保を図るとともに、さらなる来街者の増加や地域生活の利便性の向上を図ります。

#### ●新たな駅前広場の整備や多様な都市機能の創出

中野三丁目の駅直近においては、新たな南側の玄関口となる駅前広場の整備を契機に、駅につながる安全で快適な交通動線の確保や、にぎわいを創出する駅前立地を活かした土地利用が求められています。

そこで、土地の有効利用と都市機能の更新を進めるため、駅直近から線路沿い桃丘小学校跡地にかけて、街区の再編や道路を整備する面的なまちづくりを行い、防災性や利便性を高めるとともに、商業、業務、住宅など多様な都市機能を創出し、文化的なにぎわいと暮らしが調和した複合市街地の形成を図ります。

#### ●駅からの連続したにぎわいの形成と暮らしの調和

駅からの連続したにぎわいの形成やまちの活力を高めるため、建物の更新にあわせて、商業・業務機能の誘導や、地区のにぎわい軸となる安全で快適な歩行者空間を創出します。また、駅直近のにぎわいと暮らしが調和した利便性の高い住環境の形成を図るとともに、建物の更新にあわせて安全で快適な歩行者空間を創出します。

\*立体道路制度とは、道路の区域内に、道路と建築物の敷地を併せて利用すべき区域を定め、建築物と道路を立体的に整備し、土地を有効に利用する制度です。

### 中野駅周辺地区 《広域中心拠点》

中野区都市計画マスタープラン

### 中野駅地区

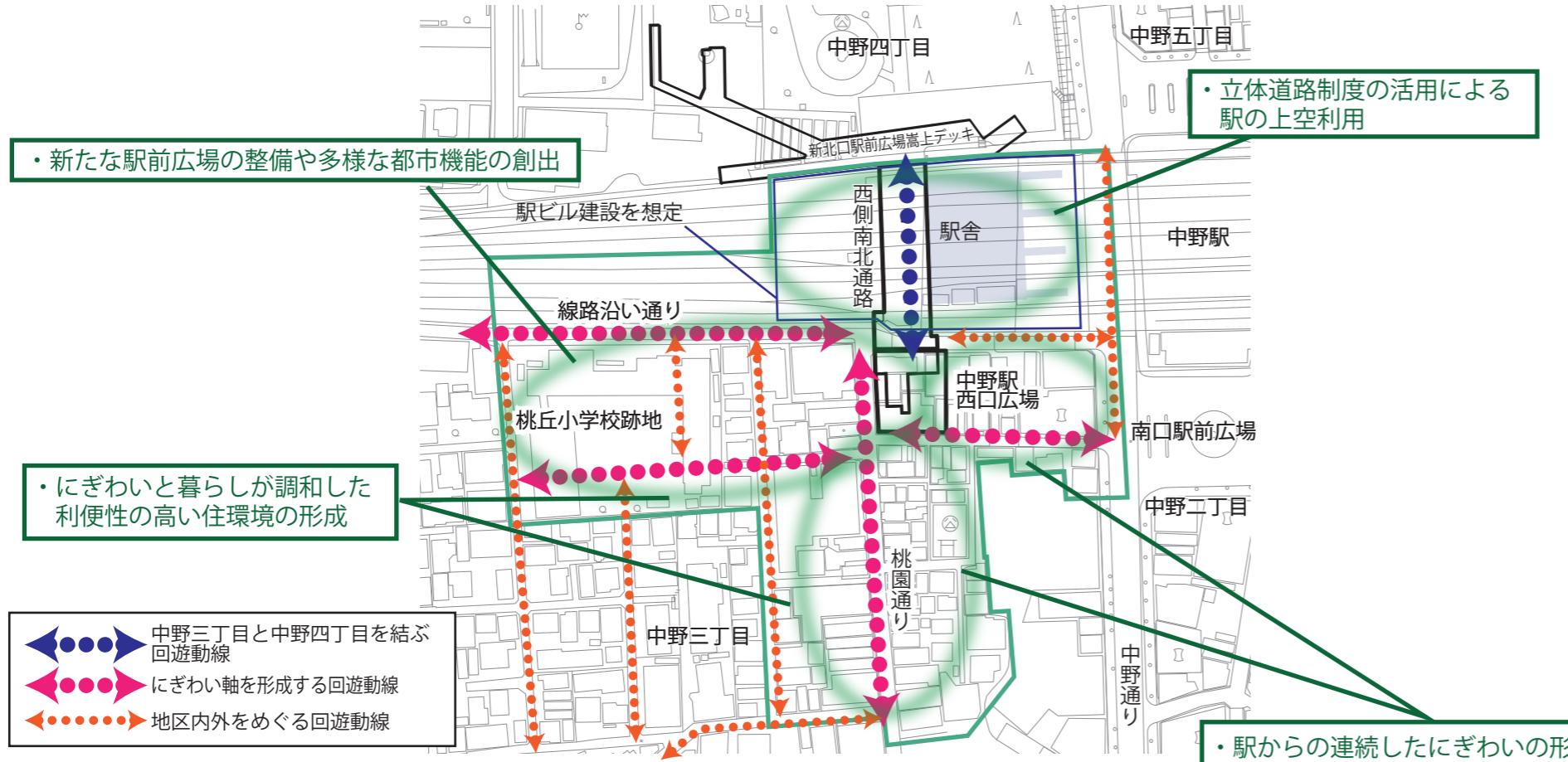
《魅力ある中野の玄関口としてまちをつなぐ》

### 中野三丁目地区

《文化的なにぎわいと暮らしの調和》

中野駅周辺まちづくりグランドデザインVer.3

### 将来像のイメージ



### 中野駅西口地区の将来像

#### ●立体道路制度の活用による駅の上空利用

- 西側南北通路、駅施設及び駅ビルの一体的な整備
- 西側南北通路を介した駅周辺への回遊動線の確保
- 地域生活の利便性の向上

#### ●新たな駅前広場の整備や多様な都市機能の創出

- 南側の新たな玄関口となる駅前広場の整備
- 面的なまちづくりによる街区の再編や道路の整備
- 安全で快適な歩行者動線を確保し、防災性や利便性を向上
- 商業・業務・住宅等の多様な都市機能を創出
- 文化的なにぎわいと暮らしが調和した複合市街地の形成

#### ●駅からの連続したにぎわいの形成と暮らしの調和

- 商業・業務機能の誘導
- 地区のにぎわい軸となる安全で快適な歩行者空間の創出
- にぎわいと暮らしが調和した利便性の高い住環境の形成

## 6.中野駅西口地区の整備方針

### 6-1.土地利用の方針

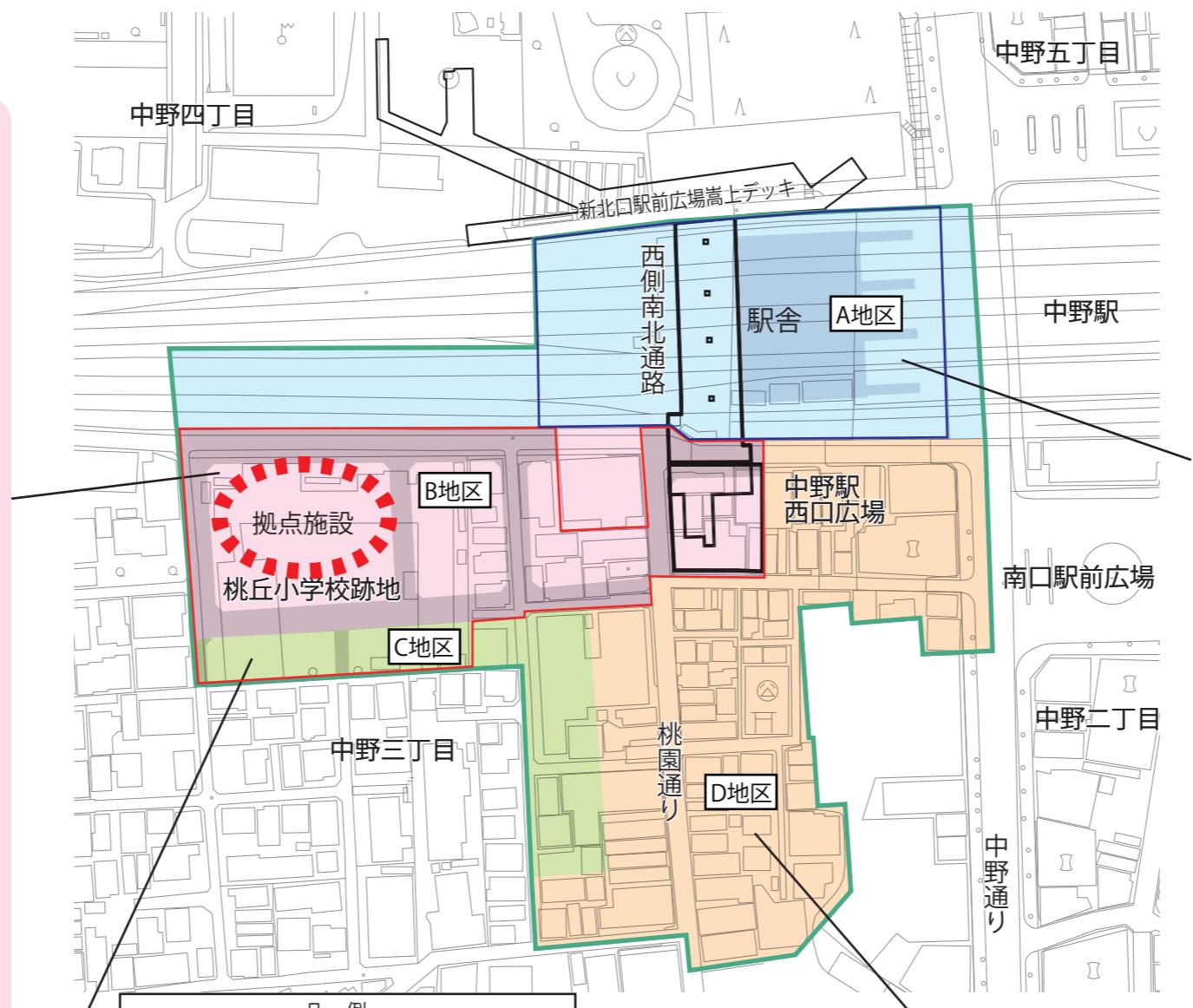
#### B地区 (新たにぎわいを創出する地区)

- 土地区画整理事業により、みどりの創出とユニバーサルデザインに配慮した中野駅西口広場の整備や街区の再編、道路の整備を行い、地区内外の回遊性の向上と防災性・利便性を高め、後背の住宅地を含む地域全体の生活環境の向上を図ります。
- 駅からの連続したにぎわいの形成を図るため、駅前立地を活かした土地の合理的かつ健全な有効利用を誘導し、商業、業務、住宅等の多様な都市機能が集積した複合的な土地利用を図ります。
- 桃丘小学校跡地を活用した、にぎわいを創出する拠点施設については、自転車駐車場と商業施設などを複合的に整備します。
- 共同化や協調建替え等にあわせて、歩行者空間や人々の憩いや交流の場となるオープンスペースを創出し、駅へつながる安全で快適な歩行者ネットワークの形成を図ります。

#### C地区（住宅地区）

- 駅直近の利便性と後背の落ち着いた住宅地と調和した良好な住環境の形成を図るとともに、共同化や建替え等にあわせて、歩行者空間を創出します。
- 西側については、土地区画整理事業により街区の再編や道路の整備を行い、地区の回遊性を高める交通動線を確保します。

中野駅西口地区では、地区計画を定めて計画的にまちづくりを推進していきます。また、地区計画の策定にあたっては、地区の立地特性を踏まえ、当地区を次の4つの区域に区分して、区域ごとに土地利用の方針を示します。



中野駅西口広場のイメージ図

#### A地区 (駅上空を中心とした地区)

- 立体道路制度を活用し、中野駅上空に西側南北通路、西側改札及び駅ビルを一体的に整備します。
- 西側南北通路を介し、駅から駅前広場、周辺のまちへと続く安全で快適な歩行者動線と非常時における広域避難場所への誘導動線を確保し、駅周辺の回遊性と生活利便性の向上を図ります。
- 駅と周辺のまちの機能が融合した魅力的なにぎわいを創出するため、駅上空に商業機能等を形成し、来街者及び区民の利便性の向上を図ります。

#### D地区 (駅前商店街を中心とした地区)

- 地区の特性や課題を踏まえ、共同化や建替え等にあわせたまちづくりの手法を検討していきます。
- 中野駅西口広場からつながる、地区のにぎわい軸となる安全で快適な歩行者空間を創出します。



西側南北通路のイメージ図

## 6.中野駅西口地区の整備方針

### 6-2.都市基盤等の整備の方針

安全・快適で利便性の高い都市空間の形成と防災性の向上を図るため、都市基盤等の整備の方針を定めます。

#### 西側南北通路

- 中野三丁目と中野四丁目をつなぎ、中野通りに次ぐ南北の主要な動線として整備します。
- 駅から駅前広場、周辺のまちへと続く安全で快適なユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線を確保します。
- 広域避難場所への誘導動線を確保し、地区の防災性を高めます。

#### 中野駅西口広場

- 西側南北通路における南側の新たな玄関口として、みどりの創出とユニバーサルデザインに配慮した歩行者主体の駅前広場を整備し、交通結節機能の強化を図ります。

#### 区画道路

- 災害時における緊急車両の通行等、地域の防災性の向上を図る区画道路を整備します。
- 駅から住宅地へつながる安全で快適な歩行者動線とし、回遊ネットワークの形成を図るとともに、電線類の地中化を促進します。

#### 自動車・自転車駐車場

- 商業施設などに対して、中野区駐車場整備計画に定めた整備方針に基づいた自動車駐車場の整備を指導・誘導します。
- 拠点施設に整備する公共自転車駐車場については、歩行者動線との交差を避けるなど適切な位置に設けるように配慮します。

### 6-3.建築物等の整備の方針

魅力ある中野の玄関口としてふさわしい土地利用の誘導と良好なまちなみの形成を図るために、建築物等の整備について、地区的状況に応じたまちづくりのルールを定めます。

- 立体道路制度の活用による、駅の上空利用を図ります。
- 文化的にぎわいと暮らしが調和した複合市街地として、健全な商業環境の形成とにぎわいの創出を図るために必要な機能を誘導します。
- 適正かつ合理的な土地の有効利用を図り、後背の住宅地と調和した良好な住環境を保全するためのルールを定めます。
- 回遊性のある安全で快適な歩行者空間を確保するためのルールを定めます。
- 複合市街地として良好なまちなみの形成を図るためのルールを定めます。

## 7.まちづくりの手法と展開

### 7-1.まちづくりの手法

#### 地区計画によるまちづくり

地区計画とは、ある一定のまとまりを持った「地区」を対象に、地区の特性や課題を踏まえ、目指すべき将来像を設定し、地区の実情にあつた一定のルールを都市計画に定め、まちづくりを進めていく手法です。

##### 地区計画に定める事項

- ・目標
- ・方針
- ・地区整備計画

#### 事業によるまちづくり

##### 立体道路制度

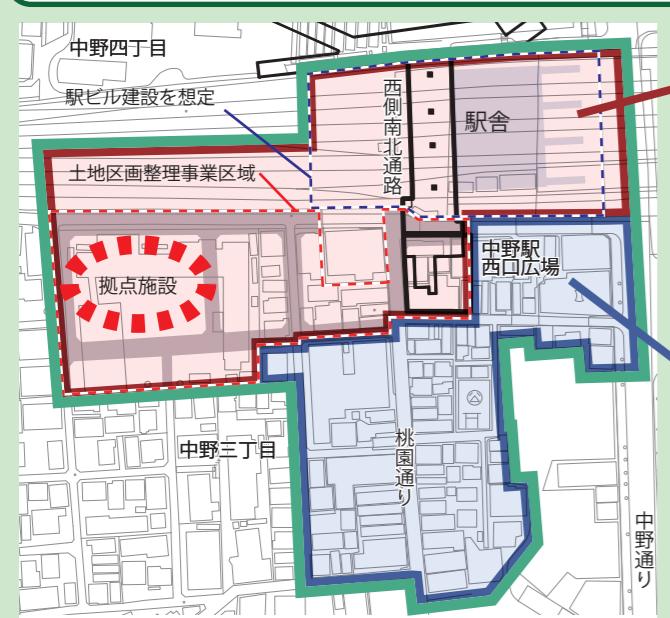
立体道路制度を活用することにより、駅地区の回遊性を創出し、中野三丁目と中野四丁目をつなぐ西側南北通路、西側改札及び駅ビルを一体的に整備します。

##### 土地区画整理事業等

土地区画整理事業により中野駅西口広場や街区の再編・道路の整備を行うとともに、土地有効利用事業により、桃丘小学校跡地を活用した、にぎわいを創出する拠点施設を整備します。

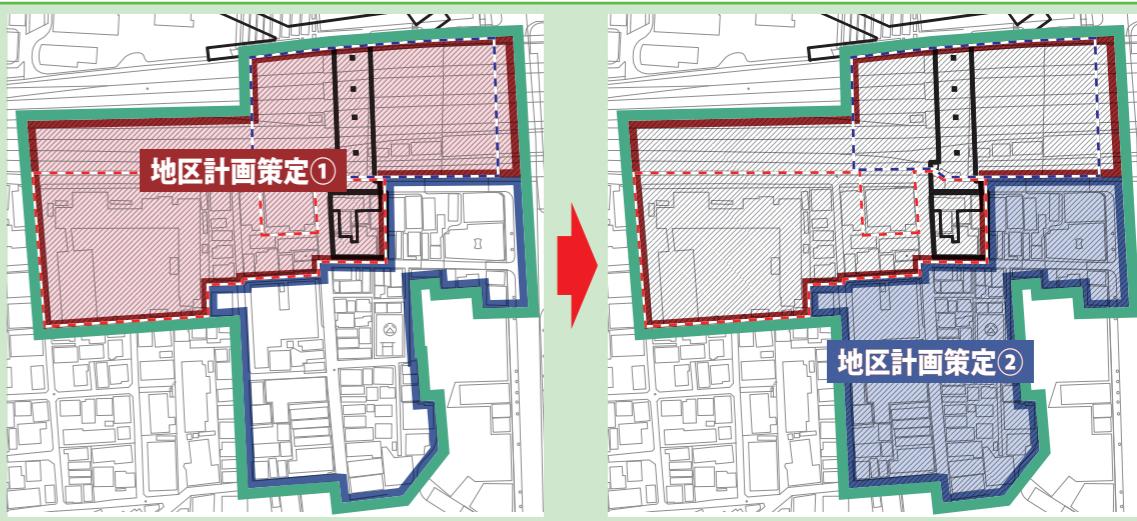
##### 誘導型まちづくりの検討

地区の特性や課題を踏まえ、共同化や建替え等にあわせた誘導型のまちづくりを検討し、地区計画を定めています。



### 7-2.まちづくりの展開

地区の実情を踏まえ、段階的に地区計画を定め、まちづくりを進めていきます。



#### 今後の予定

##### 事業によるまちづくり

- ・立体道路制度
- ・土地区画整理事業

##### 都市計画決定

- ・西側南北通路
- ・中野駅西口広場
- ・土地区画整理事業

##### 地区計画策定①

##### 段階的整備

##### 誘導型まちづくりの検討

- ・共同化や建替え等にあわせたまちづくり

誘導型まちづくりの検討・地区計画の策定②・まちづくりの進展

～平成26年度

平成27年度～平成29年度

平成30年度～平成32年度 平成33年度～

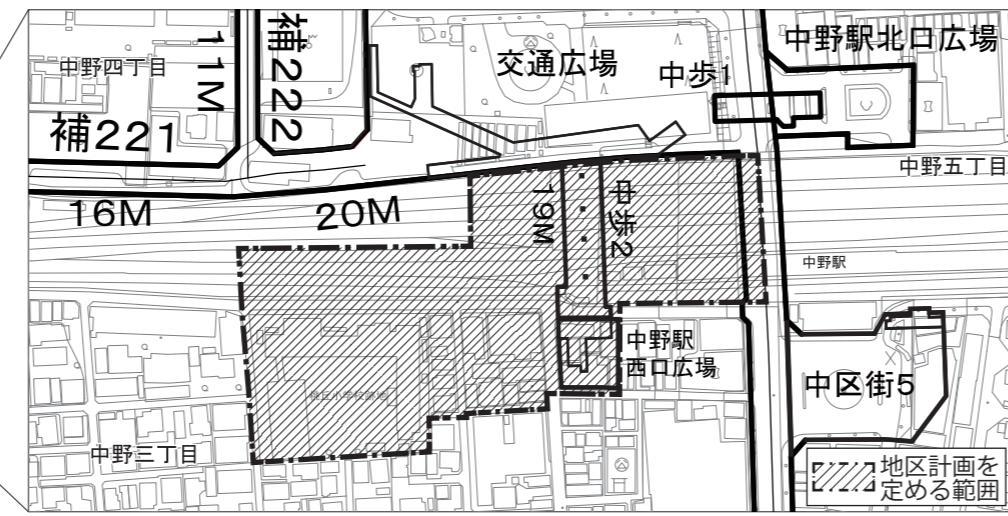
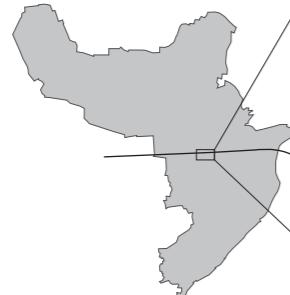
# 中野駅西口地区地区計画（素案）

## 1. 名称・位置・面積

名称：中野駅西口地区地区計画

位置：中野区中野三丁目、中野四丁目各地内

面積：約 2.3ha



## 2. 地区計画の目標

### 中野駅周辺地区 《広域中心拠点》 中野区都市計画マスタープラン

### 中野駅地区 《魅力ある中野の玄関口としてまちをつなぐ》 中野三丁目地区 《文化的なにぎわいと暮らしの調和》 中野駅周辺まちづくりグランドデザイン Ver.3

### 中野駅西口地区の将来像

- 立体道路制度による駅の上空利用
  - 西側南北通路、駅施設及び駅ビルの一体的な整備
  - 西側南北通路を介した駅周辺への回遊動線の確保
  - 地域生活の利便性の向上
- 新たな駅前広場の整備や多様な都市機能の創出
  - 南側の新たな玄関口となる駅前広場の整備
  - 面的なまちづくりによる街区の再編や道路の整備
  - 安全で快適な歩行者動線を確保し、防災性や利便性を向上
  - 商業・業務・住宅等の多様な都市機能を創出
  - 文化的なにぎわいと暮らしを調和した複合市街地の形成
- 駅からの連続したにぎわいの形成と暮らしの調和
  - 商業・業務機能の誘導
  - 地区のにぎわい軸となる安全で快適な歩行者空間の創出
  - にぎわいと暮らしを調和した利便性の高い住環境の形成

中野区都市計画マスタープラン等の上位計画や、中野駅西口地区まちづくり基本方針に示した本地区の将来像に基づき、地区計画の目標を以下のように定めます。

### 地区計画の目標

本地区は、中野駅南口の西側に位置し、地域の暮らしに密着した個人商店や中低層住宅などが立地している地区である。本地区を含む中野駅周辺地区は、中野区都市計画マスタープラン（平成21年4月）において「商業・業務地区」に位置付けられており、再開発などによる土地利用の高度化、景観の向上や駅前交通結節機能の改善・整備を進めながら「広域中心拠点」として育成するとともに、駅周辺道路、ペデストリアンデッキの整備などをすすめ、駅周辺の回遊性を高めることとしている。また、中野駅周辺まちづくりグランドデザインVer.3（平成24年6月）では、中野駅周辺の4つの地区のそれぞれのまちの個性を活かしながら、多様な都市機能の配置・集積を図り、活力と魅力を高めるとともに、相互に連携し合い、相乗的に発展していくよう、駅を中心とした回遊ネットワークを形成するための動線整備を進めることとしている。

このことから、本地区においては、立体道路制度を活用した、中野駅上空への西側南北通路、駅施設及び駅ビルの一体的な整備を通じ、本地区を含めた駅周辺への回遊動線の確保を図るとともに、さらなる来街者の増加や地域生活の利便性の向上を図る。

また、土地の合理的かつ健全な有効利用と都市機能の更新を進めるため、駅直近から線路沿い桃丘小跡地にかけて、街区の再編や道路を整備する面的なまちづくりを行い、商業、業務、住宅など多様な都市機能の創出を図るとともに、西側南北通路における南側の新たな玄関口としての駅前広場の整備や駅につながる安全で快適な交通動線を確保し、防災性や利便性を高め、文化的なにぎわいと暮らしを調和した複合市街地の形成を図る。

## 3. 土地利用の方針

中野区の「広域中心拠点」の形成に向けて、地区の立地特性を踏まえ、3つの地区に区分し、土地利用の方針を以下に定める。

### 1. A地区

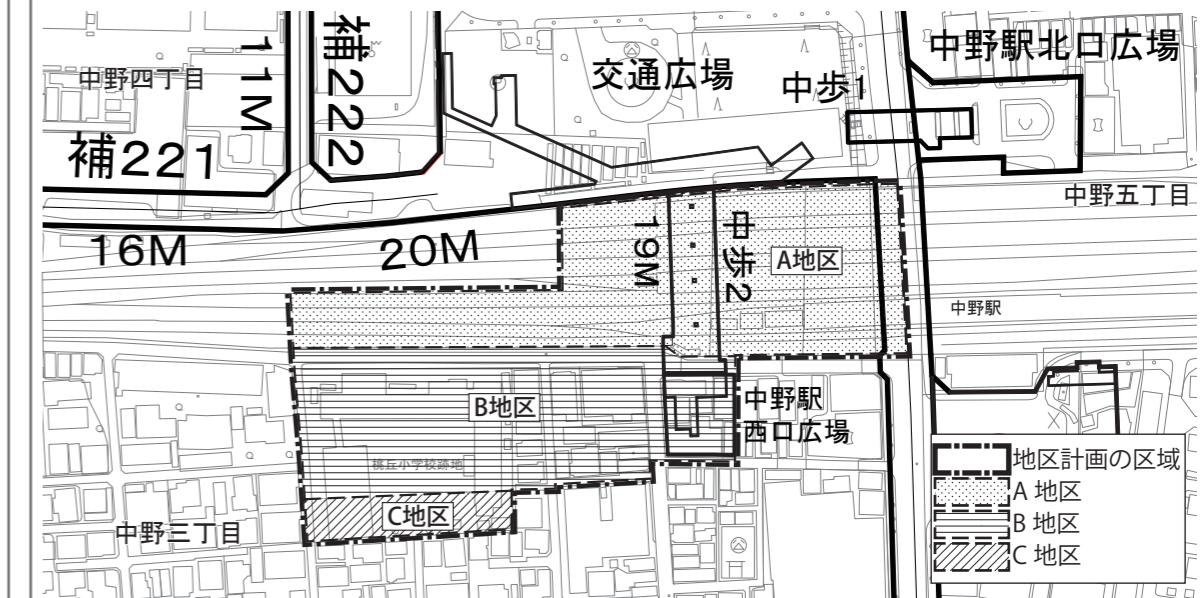
- ・立体道路制度を活用し、中野駅上空に西側南北通路、西側改札及び駅ビルを一体的に整備し、駅から駅前広場、周辺のまちへと続く安全で快適な歩行者動線と非常時における広域避難場所への誘導動線を確保し、本地区を含めた駅周辺の回遊性と生活利便性の向上を図る。
- ・駅と周辺のまちの機能が融合した魅力的なにぎわいを創出するため、駅上空に商業機能等を形成し、来街者及び区民の利便性の向上を図る。

### 2. B地区

- ・土地区画整理事業により、西側南北通路における南側の新たな玄関口として、みどりの創出とユニバーサルデザインに配慮した中野駅西口広場を整備し、交通結節機能の強化を図るとともに、街区の再編や道路の整備を行い、地区内外の回遊性の向上と防災性や利便性を高め、後背の住宅地を含む地域全体の生活環境の向上を図る。
- ・駅から連続したにぎわいの形成と地域生活の利便性を高めるため、駅前立地を活用した土地の合理的かつ健全な有効利用を誘導し、にぎわいを創出する拠点施設の整備や商業、業務、住宅等の多様な都市機能が集積した複合的な土地利用を図る。
- ・共同化や協調建替え等にあわせて歩行者空間や人々の憩いや交流の場となるオープンスペースを創出し、駅へつながる安全で快適な歩行者ネットワークの形成を図る。

### 3. C地区

- ・土地区画整理事業により街区の再編や道路の整備を行い、地区の回遊性を高める交通動線を確保するとともに、駅直近の利便性と後背の落ち着いた住宅地と調和した良好な住環境の形成を図る。



# 中野駅西口地区地区計画（素案）

## 4. 地区施設の整備の方針

安全で快適な利便性の高い都市空間の形成と防災性の向上を図るため、地区施設の整備の方針を次のように定める。

### 1. 道路

- 円滑な交通の処理と中野駅西口広場から後背の住宅地へとつながる安全で快適な歩行者動線となる回遊ネットワークの形成を図るとともに、災害時における緊急車両の通行を確保する区画道路を整備する。

## 5. 建築物等の整備の方針

魅力ある中野の玄関口としてふさわしい土地利用の誘導と良好なまちなみの形成を図るために、地区的状況に応じて、建築物等の整備の方針を次のように定める。

- 立体道路制度を活用して、道路の上空において建築物等の整備を一体的に行うため、都市計画道路の名称、重複利用区域、建築物等の建築及び建設の限界を定める。
- 複合市街地として健全な商業環境の形成とにぎわいの創出を図るため、建築物等の用途の制限を定める。
- 適正かつ合理的な土地の有効利用を図るとともに、後背の住宅地と調和した良好な住環境を保全するため、地区的特性に応じ、建築物の容積率の最高限度、建築物の敷地面積の最低限度、建築物等の高さの最高限度を定める。
- 回遊性のある安全で快適な歩行者空間を確保するため、壁面の位置の制限、壁面後退区域における工作物の設置の制限を定める。
- 複合市街地として良好な街並みの形成を図るため、建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限、垣又はさくの構造の制限を定める。

## 今後の予定

平成 27 年  
7 月



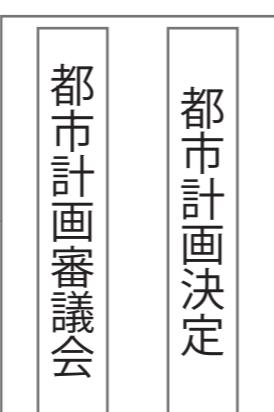
9~10 月



10~11 月



12 月 ~ 平成 28 年 1 月



## 参考 関連都市計画（既決定）

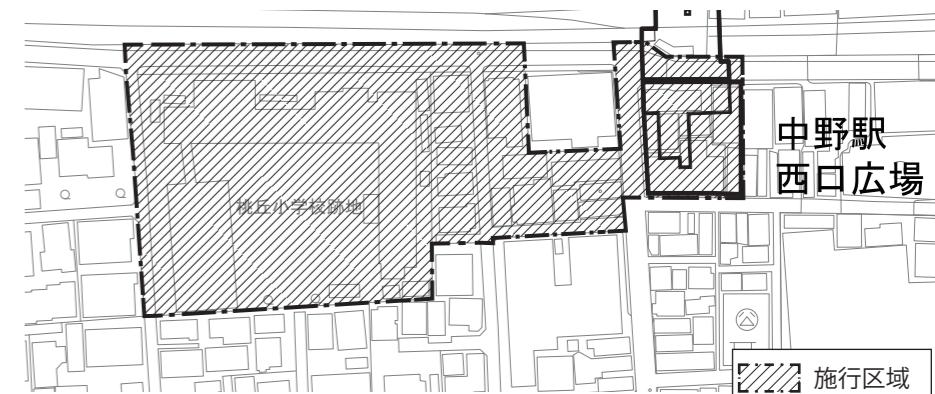
### 中野三丁目土地区画整理事業（平成 27 年 3 月 6 日決定）

名称：中野三丁目土地区画整理事業

区域：中野区中野三丁目、中野四丁目各地内

面積：約 1.0ha

公共施設：交通広場（中野駅西口広場）  
及び区画道路



### 東京都市計画道路・交通広場（平成 27 年 3 月 6 日決定）

（東京都市計画道路）

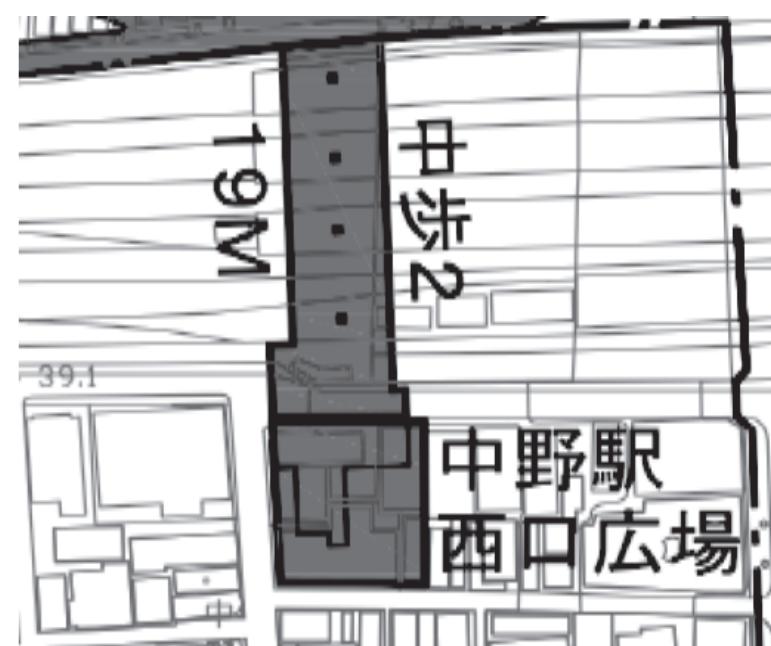
名称：中野歩行者専用道第 2 号線

位置：起点 中野区中野四丁目  
終点 中野区中野三丁目

区域：延長 約 80m

構造：構造形式 嵩上げ式  
幅員 19m

備考：中野四丁目地内において立体的な範囲を定める  
(延長約 70m の区間を対象)



（東京都市計画交通広場）

名称：中野駅西口広場

位置：中野区中野三丁目地内

面積：約 1,200 m<sup>2</sup> (嵩上部約 300 m<sup>2</sup>含む)